

## 2012 HOKKAIDO トレセン U-16 道央ブロック 報告書

【報告者】 梅田浩士（道央トレセン U-16 代表） 門間貴志（道央トレセン U-16 監督）

【日 程】 2012年7月5日（集合）～7月8日（解散）

【会 場】 SSAP 札幌市東雁来運動公園

【参加スタッフ】 梅田浩士（北広島高校） 三國弘樹（砂川高校） 沼佐一世（小樽水産高校）

鎌原準一郎（駒大岩見沢高校） 渡邊 翼（小樽桜陽高校） 門間貴志（北照）

【参加選手】 GK 菅 勇輝（北照） 細谷 励（札幌日大）  
DF 越坂部朱有乙（札幌日大） 早坂拓人（札幌日大） 鈴木大貴（サンク FC）  
本間和輝（小樽桜陽） 沼田佳希（北照） 門脇海（北照）  
MF 山下航平（札幌日大） 松平洸（札幌日大） 田中圭（札幌日大）  
荒川璃久（札幌日大） 仲井惇樹（札幌日大） 細野浩亮（札幌日大）  
黒田敬太（滝川西）  
FW 池田航平（札幌日大） 清水大伸（サンク FC） 三上隆太（北照）

### 【今大会を振り返って】



7月6日から8日にかけて行われた2012 HOKKAIDO トレセン U-16 で道央ブロックは全敗という結果だった。

千歳・空知・小樽の各ブロックで選手を選考し、選考されたメンバーで6月23日から24日まで芦別で選考合宿を行った。その中で道央ブロックのメンバーを18名選考したが、大会前日まで選考メンバーを集めてトレーニングすることができなかったため、

選手の個性の把握やチームコンセプトの浸透を考えると日程調整が来年以降間違いなく必要だと感じた。



この選考会と並行して指導者の研修も行った。選考会2日目の午前は全地区共通のトレーニングを計画していたので、各地区トレセンスタッフ全員でこのトレーニングを行った。指導者も普段は気付けないポイントを他の指導者から学ぶ良い機会になった。

チームは7月5日に集合したあと、創成高校の胸をお借りし練習試合を行ってから大会に臨んだ。創成高校のスタッフの方々、選手にこの場をお借りしお礼を申し上げたい。創成高校との練習試合で「ボールの奪い方」「攻撃のスピードアップの方法」「人工芝に慣れる」という趣旨を選手たちは理解しながらプレーできたことは良かったと感じた。

7月6日から8日まで行われた試合では、オフのポジショニングをどこに取るのか、ボール保持者にどのタイミングでどのように関わるのかが理解不足でボールを失うことが多くなってしまった。守備に関しても誰がファーストに行くのか、アプローチスピードはどのくらいのスピードでいくのか、ファーストに対してカバーの選手はどこにポジショニングを取れば良いのかなどが不明確でチームとしてボールを意図的に奪うことができなかった。相手のサイド攻撃に対してのポジショニングや体の向きも同一視ができていないことが多く、何度もピンチを迎えてしまった。これらの課題は2～3日で修復することはできないので、継続した各地区でのトレセン活動や、各チームの指導者が継続してしっかりとしたトレーニングを所属選手に行うことが大切だと考えられる。結果だけ見ると非常に不甲斐ない結果となってしまったが、選手たちは1日1日成長していた。しかし試合感覚やゲームの運び方などは日常から継続してトレーニング・ゲームを行わなければ身に付けさせることは容易ではないので、各地区のトレセンの役割は大きいと考えられる。

最後に、選手を派遣して下さった各チームの方々、保護者の方々、日ごろからトレセン活動を支援して下さっている全ての方々に御礼を申し上げます。

